

第65回 消費者行動研究コンファレンス開催のお知らせ

秋の消費者行動研究コンファレンスは、オンライン参加と現地参加が選べるハイブリッド形式による開催が決定いたしました。現在、コーディネーターの井上淳子先生（成蹊大学）・西本章宏先生（関西学院大学）・玉利祐樹先生（静岡県立大学）を中心として「環境変化と消費者行動研究の未来」をテーマにプログラムを作成中です。詳細については次号で再度お知らせいたします。

開催日程：2022年10月29日（土）・30日（日）／開催校：西南学院大学（福岡市）

自由論題研究報告など募集！

秋のコンファレンスにおける自由論題研究報告の報告者を募集します。詳細は、JACS Web サイト（<http://www.jacs.gr.jp/>）をご覧ください。

第64回 消費者行動研究コンファレンス 開催報告 ＜統一論題＞消費者行動研究の30年

第64回消費者行動研究コンファレンスが2022年5月14日～15日に開催されました。

第1日目午前には特集論文セッションとして2件の報告が行われました。午後には「消費者行動研究の30年」をテーマとして、解題を法政大学の新倉貴士先生に頂いた上で、学習院大学の青木幸弘先生に「消費者行動論の視点から」、上智大学の杉本徹雄先生に「心理学の視点から」、慶應義塾大学名誉教授の池尾恭一先生に「マーケティング論の視点から」ご講演をいただきました。続いて、慶應義塾大学名誉教授の和田充夫先生に司会としてご登壇頂き、5名の先生によるパネルディスカッションが行われました。第2日目は自由論題研究報告の会場をオンラインで2つに分け、午前には2本のロングセッションと10本のショートセッションが、午後には2本のロングセッションと11本のショートセッションが行われました。コロナ禍の中のフルオンラインでも、第1日目夜の懇親会を含めて大変盛況なコンファレンスとなりました。登壇頂いた多くの先生方、ホストの専修大学・奥瀬善之先生に感謝申し上げます。

「特集論文」について

●特集論文セッション（第2期）：

論文受付を2022年10月1日よりスタートします。詳しくは別項（P4）をご覧ください。

●特集論文セッション（第3期）：

特集テーマを今秋の第65回コンファレンスにて発表いたします。乞うご期待ください。

— 第21回 JACS—榎尾俊雄 論文プロポーザル賞 優秀賞 —

「新カテゴリー創造のためのマーケティング：消費者新製品採用におけるインスピレーション介在モデル適用の可能性」

落原 大治（法政大学大学院）

この度は、第21回 JACS 榎尾俊雄論文プロポーザル賞優秀賞という栄誉ある賞を賜りましたこと、大変光栄に存じます。審査委員の先生方、コロナ禍の中オンラインでのコンファレンス運営にご尽力いただきましたスタッフの皆様、このような貴重な場を設けていただきましたこと厚く御礼申し上げます。

成熟した市場のなかで、既存の製品評価の枠組みを変化させ新たな製品評価基準を創造する新カテゴリー創造は、企業経営において重要性の高い戦略として位置付けられています。一方で、近年その成功数は年々低下しています。そのような中で消費者の潜在ニーズを顕在ニーズへと変換し、新しいカテゴリーを創造するマーケティングの役割はさらに重要になってきています。

今回、私が提案させていただいた研究対象は、消費者個人のあたまの中に新しいカテゴリーが創造される情報処理過程の研究です。消費者は新しい製品に出会った際に、自らの事前知識に基づき解釈を行い、その後の行動を決定します。特に、新カテゴリーが創造される過程においては、新しい製品と既存知識の間にギャップがあるため、それを埋めて解釈する類推処理が行われています。

既存研究においては新製品（ターゲット）と事前知識（ベース）が結びつくアクセスの過程について統一的な見解が得られているとは言えず、また、実証的な研究において研究者の意図した特定のベースに収束させる類推のみを検討しており、実務に耐えるものにはなっていないのが現状です。

本研究では、このアクセスの過程をアドホックカテゴリーによる推論として検討します。実際のマーケティング環境のように、

製品コンセプトと消費者コンテキストを外部刺激とする拡張的な連想を想定し、その中で、新しい製品評価軸（観点）が設定され、それに基づくアドホックカテゴリーとベース検索と写像、転移がなされ、新しいカテゴリーが形成される過程を実験により明らかにします。

加えて、新カテゴリーが類推により創造される際に生じる超越の感覚と快感情の喚起の知覚、それに伴う動機づけをインスピレーションの過程として捉えて、新カテゴリーの形成が動機づけに結びつくことを検討していきます。認知過程とその後の動機づけを検討することで、製品自体の採用も射程に入れることが出来ます。また、近年、注目が集まる「偶然的消費（セレンディピティ消費）」に対する知見を提供するものもあります。

本研究は新カテゴリー創造での適用が難しいとされてきたブランド選択情報処理モデルを適用するものであり、イノベーション論とブランド論における消費者行動の議論の統合を試みるという野心的な研究でもあります。

最後に、本研究に貴重なご指摘を下された審査員の先生方、ならびに、日ごろからご指導いただいております新倉貴士先生（法政大学）、西川英彦先生（法政大学）、研究助成をいただきました榎尾俊雄記念財団に、改めてこの場を借りて御礼申し上げます。

今回、賞をいただいたことを励みに、消費者行動研究に少しでも貢献できるよう、より一層の精進に努めて参ります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。

2021 年度決算報告

2022 年 5 月 14 日にオンラインで開催された会員総会において、2021 年度決算報告が行われ、承認されました。

科 目	2021 年度 予算額	2021 年度 決算額	差 異	2022 年度 予算額
1. 事業活動収入				
会費収入	6,989,000	6,468,000	521,000	7,281,000
学術会員	4,944,000	4,908,000	36,000	5,304,000
学術学生会員	280,000	300,000	△ 20,000	365,000
個人賛助会員	140,000	135,000	5,000	160,000
法人賛助会員	950,000	850,000	100,000	750,000
滞納等	675,000	275,000	400,000	702,000
コンファレンス収入	1,700,000	1,292,000	408,000	1,700,000
学会誌販売収入	100,000	39,600	60,400	100,000
雑収入	0	53	△ 53	0
助成金	500,000	500,000	0	500,000
事業活動収入計	9,289,000	8,299,653	989,347	9,581,000
2. 事業活動支出				
事務費	1,060,000	768,649	291,351	1,380,000
学会誌印刷・発送一式費	500,000	439,511	60,489	880,000
通信費	150,000	150,060	△ 60	130,000
Web ホスティングサービス利用費	110,000	60,689	49,311	70,000
その他	300,000	118,389	181,611	300,000
事業運営費	3,700,000	2,377,467	1,322,533	3,080,000
コンファレンス支出(会場費含む)	1,700,000	1,467,275	232,725	1,700,000
コンファレンス開催費(開催校補助費)	200,000	0	200,000	100,000
学会誌作成費(査読謝礼費)	250,000	167,792	82,208	170,000
査読システム運用費	250,000	92,400	157,600	100,000
学会誌サポート費	550,000	360,000	190,000	360,000
国際交流事業費	250,000	0	250,000	200,000
ワークショップ開催費(開催補助費)	200,000	60,000	140,000	150,000
学会賞賞金	300,000	230,000	70,000	300,000
予備費	4,850,000	4,872,510	△ 22,510	5,100,000
査読(出版)システム開発費	0	0	0	1,000,000
学会サイトリニューアル費	1,500,000	894,300	605,700	100,000
事務委託費	3,350,000	3,978,210	△ 628,210	4,000,000
事業活動支出計	9,610,000	8,018,626	1,591,374	9,560,000
当期収支差額	△ 321,000	281,027	△ 602,027	21,000
前期繰越収支差額	33,661,322	33,661,322	0	33,942,349
次期繰越収支差額	33,340,322	33,942,349	△ 602,027	33,963,349

上記の通り報告いたします。

事務局担当理事 津村 将章 印

上記の報告を適正なものとして認めます。

監事 八島 明朗 印

10月1日より「特集論文(第2期)」公募を開始いたします

『消費者行動研究』の特別号(2023年刊行予定)に掲載する特集論文を、来る10月1日より受付開始いたします。研究者・大学院生の方々からの、多数の応募を期待しております。

●「特集論文(第2期)」のテーマ: 「レビュー論文特集」

今回の特集論文では、消費者行動に関わるさまざまな研究領域を対象としたレビュー論文を集めることといたしました。レビュー論文とは、例えば

- 特定のテーマに関する過去の研究を独自の視点で整理することにより、これまで見過ごされてきたが、今後重要となる研究の方向性を明らかにする論文
- 過去の研究において、
 - (1) 相反する結果が得られている
 - (2) 異なる理論的説明がなされている
 - (3) 相反する影響・効果が示唆されているなどといった研究群が存在することを指摘した上で、それらに関する理論的考察から新しい命題や仮説を提示する論文
- 定量的データの分析を通じて従来の研究状況を明らかにする論文

などが考えられます。

変化する消費者環境や消費者課題に着目し、消費者行動に関わる独自の気づきや新しい視点、研究領域を提案する意欲的なレビュー論文の投稿をお待ちしております。特に若手の研究者および大学院生の皆さんに、新しい視点を柔軟に取り入れた先鋭的な議論を展開していただけることを期待しますが、キャリアを問わず、ご投稿をお待ちしています。

●出版までの流れとスケジュール

【第1段階】コンファレンスへの応募と発表

査読を経て発表可となりましたら、2023年春のコンファレンスで発表して頂きます。

2022年10月1日: 応募受付開始

2023年1月6日: 応募締切

2023年3月下旬頃: 発表可否の査読結果通知

2023年5月頃: 第66回コンファレンスにて発表

【第2段階】論文の投稿と出版

発表時のフィードバックを反映させた修正稿を提出して頂きます。

2023年7月頃: 修正稿締切

2023年9月頃: 論文採否の査読結果通知

2023年12月頃: 採択論文をオンライン版として先行出版

その後、紙媒体の『消費者行動研究』に掲載

●「特集論文賞」の新設

各年の応募の中から、コンファレンス特集号セッションでの発表と、『消費者行動研究』特集論文に掲載された中から特に優秀な発表と論文を選定し、その著者に授与します。(受賞対象は学会員)

<<予 告>>

第65回消費者行動研究コンファレンス
会期中の会員総会では、

【特集論文・第3期】の特集テーマ
発表を行います。

どうぞ、ご期待ください！！

応募方法、査読プロセスなど、詳細に関しましては以下の募集要項ページをご参照ください。

<https://www.jacs.gr.jp/conference/tokushuronbun-2/>

学会費の「銀行振込」についてのお願い

会費納入に際しましては、事務局から郵送でお送りしている「郵便局の振込用紙」でのお振り込みをお願いしておりますが、

銀行振込をご利用の場合、大学名や企業名などの「組織名」から入力されますと、振り込みました「個人名」が特定できないというケースが出てきます。「銀行振込」の際には、必ず「個人名」から記入していただきますよう、ご協力をお願い致します。

やむを得ず組織名から（または組織名のみ）の振込人名になる場合は、事務局まで e-mailにてご一報いただきますようお願い致します。

ご所属・ご住所の変更についてのお願い

★ご登録の所属先等が古いままで、更新されていない方が多く見受けられます。

ご所属やご住所が変更となる際には、必ず JACS 事務局へご連絡ください。お手数ではございますがよろしくお願い致します。

なお、会費納入時、「郵便局の振込用紙」に変更箇所を明記されるケースが見受けられますが、変更のご連絡は、下記 JACS 事務局までお願い致します。

JACS Website(<https://www.jacs.gr.jp/>)からご自身でも直接変更可能ですので、是非ご活用ください。

新入会員の募集について

本学会への入会を希望される方は
学会 Website (<https://www.jacs.gr.jp/admit/>) から入会申請を行ってください。

●入会資格

[学術会員]

消費者行動の研究・教育に従事する大学の専任教員、大学院在籍者（在籍経験者を含む）、およびそれに準ずる者（文部科学省が学術研究団体と認める学会の正会員、大学の非常勤講師としての教歴を有する者、等）。

但し、学術会員 1 名の推薦が必要。

[賛助会員]

本学会の趣旨に賛同する法人および個人。

●入会規定 <https://www.jacs.gr.jp/admit/>

●年会費

※令和 3 年度（2021 年度）より

[学術会員] 12,000 円

（但し、大学院生は 5,000 円に減免）

[賛助会員] 個人会員 1 口 5,000 円

法人会員 1 口 50,000 円

★法人会員には会員特典がございます。
詳しくは「入会規定」をご覧ください。

●日本消費者行動研究学会（JACS）事務局のご案内●

（事務局）神奈川大学 経営学部 津村将章研究室
〒220-8739 横浜市西区みなとみらい 4-5-3
Email: jacs.assist@gmail.com

（事務取扱）日本消費者行動研究学会 事務取扱
〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13 4F
一般社団法人 学会支援機構内
Tel: 03-5981-6025 / Fax: 03-5981-6012
Email: jacs@asas-mail.jp



<JACS Website>

<https://www.jacs.gr.jp>